

令和四年度 第三十五回夕暮祭短歌大会入賞歌

秦野市長賞

(敬称略)

我が影が大山指せば昼餉<sup>ひるめし</sup>なり野良仕事には時計は要らぬ

神奈川県平塚市

石黒 和風

秦野市教育委員会教育長賞

一塁をめぐって走るスピードでいつか追い越したい地平線

神奈川県横浜市

石川 胡桃

秦野短歌会会長賞

また一戸離農の村の丘の上に馬頭観音と家畜碑の立つ

北海道札幌市

藤林 正則

山田吉郎選者賞

「抑留」を妻にも子にも語らずに父は白寿を生きて逝きたり

京都府南丹市

中川 文和

寺尾登志子選者賞

マスクして席空けて聴くシベリウス桜散らしの雨強き午後

神奈川県秦野市

奥津 恵美子

佳作

「化けてでるよ」かつての母の口癖にお願いだから化けてでてきて

北海道札幌市

阿曾 晃歩

天の川はきらきら光るたくさんの星誰もが輝ける場所を見つけた

宮城県岩沼市

氏家 未来

小枝切る鋏の音の冴え冴えと梅雨の晴れ間の風に流れ来

神奈川県秦野市

内田 禧子

言はずとも我は芭蕉にあらざれどそらと名づけしうさぎと暮らす

静岡県浜松市

内山 正則

来し方も八十年の不手際もなべて諾う眠り待つ夜

神奈川県秦野市

遠藤 伸枝

夕暮れにホットケーキの香りあり泣き止んだ子らから明日がくる

神奈川県横浜市

小野 愛加

二十五年前の私にグツジョブと言つてあげたい銀婚の夜

宮城県宮崎市

川平 陽子

お駄賃を包んでくれた手をぎゅつと握り返して記憶を閉じる

東京都文京区

菊田 知和

夕暮れに子らと並んでドーナツの穴からのぞく茜の地球

静岡県静岡市

杉山 博代

雨を吸い出すべいのバラ首を垂る酔うてしもたと壁にもたれて

三重県員弁郡  
東員町

辻 孝紀

どうにでもなれとも見ゆる芭蕉葉の檻<sup>かご</sup>しとどに濡らす水雨は

神奈川県相模原市

遠山 順子

レモン色の花束抱く夫の背に満月淡し今日にて退職

神奈川県足柄下郡  
真鶴町

中村 みほ子

スクランブル交差点の上 バラバラの時間を統<sup>す</sup>べるとき満月

神奈川県横浜市

早坂 尚輝

神様よ 語彙力ください 切実に 好きなものを語りたいんです

神奈川県秦野市

藤田 芽愛

朝もやの溪<sup>たに</sup>に分け入り兄独りさえずりを背に岩魚釣り来ぬ

神奈川県秦野市

細田 富士

傾斜地に足を踏ん張り竹伐れば春一番に竹は撓<sup>たが</sup>ひぬ

神奈川県小田原市

堀ノ内 和夫

日の暮れをアブラコウモリ低く飛び戦禍に惑う人ら躡<sup>た</sup>ちくる

神奈川県小田原市

楓川 あけみ

文庫本2冊だけを手にやってきた君が纏う陽だまりの香り

茨城県桜川市

安田 智美

思い出の 我が家は地図に 残りけり 原発避難 変わるふるさと

東京都杉並区

矢内 明子

卒業後 北の大地へ はたらきに 祖父の意志つぎ 農場守る

宮城県小山市

脇屋敷 皇貴